

II 相談状況

相談受付件数は6,127件（前年度6,075件）で前年度比100.9%である。

相談種別で最も多いのは障害相談3,214件で、そのうち知的障害相談が3,099件（全体の50.6%）である。

次いで養護相談が2,022件、うち児童虐待相談が1,454件（全体の23.7%）となっている。

経路別受付の状況は市町村（福祉事務所も含む）、家族・親戚からのものが大多数である。

（図2参照）

また、処理別状況は面接指導の中でも助言指導が4,083件（総処理件数の67.7%）と圧倒的に多く、児童施設入所・通所は135件（総処理件数の2.2%）となっている。（図3参照）

図1 相談別受付件数

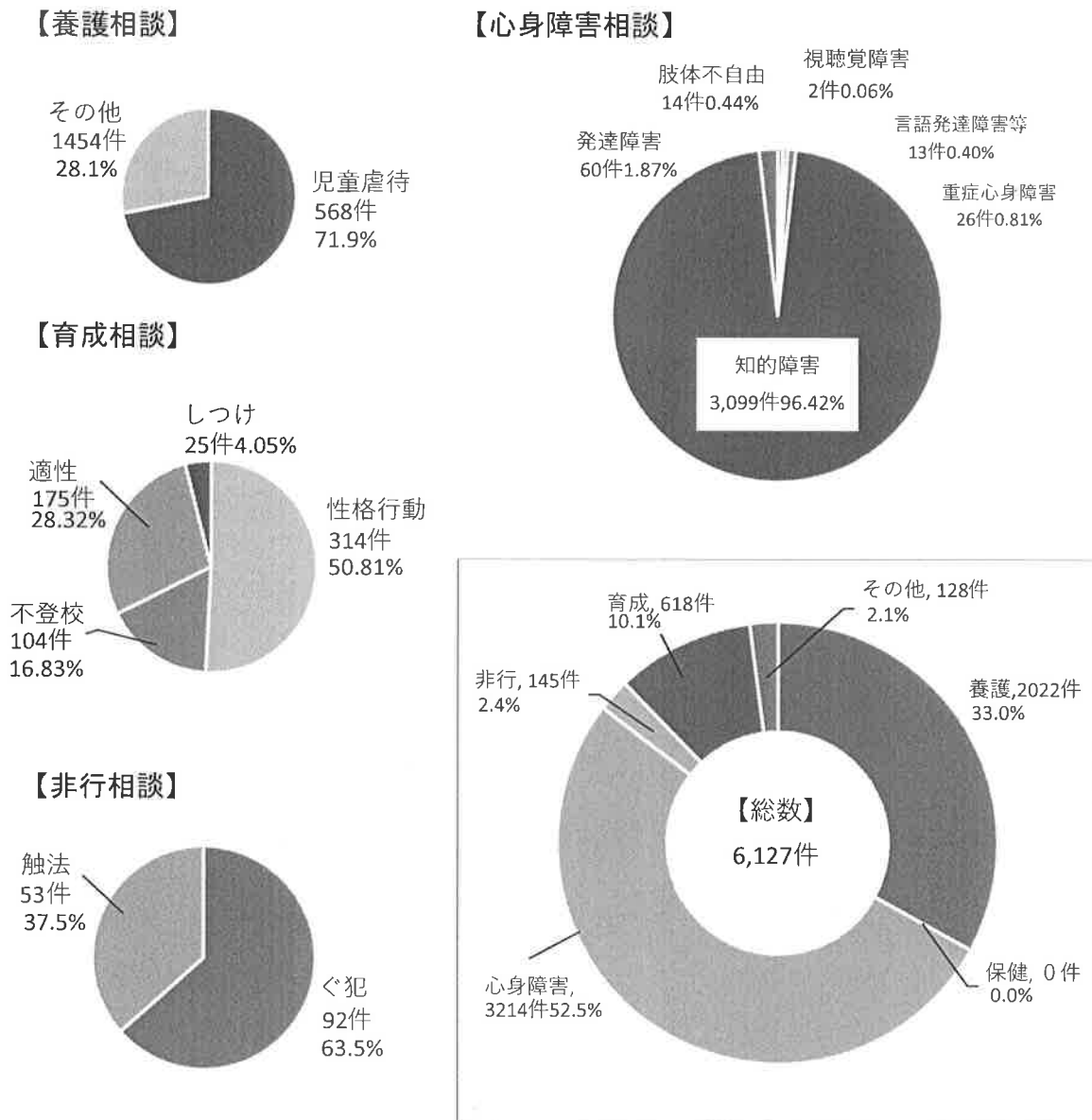
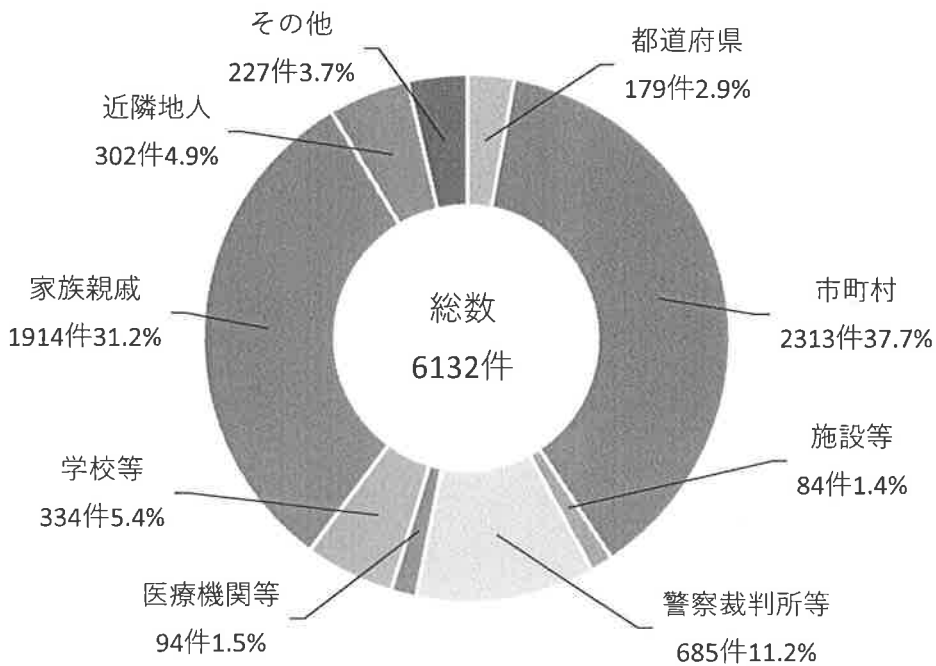


表1 相談別受付状況

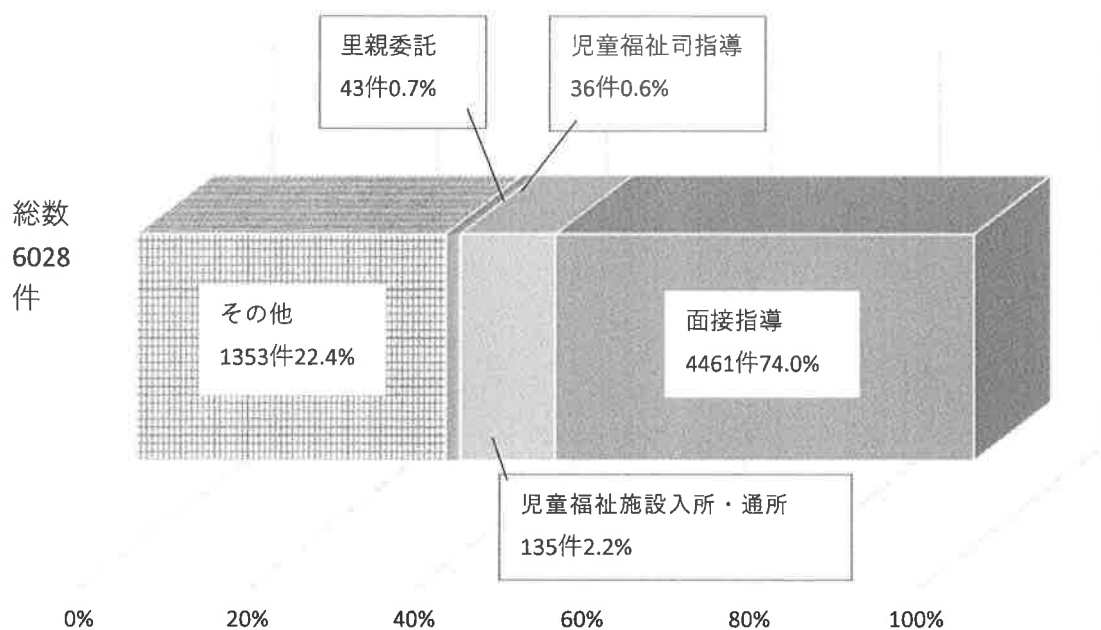
	中央		西濃		中濃		東濃		飛騨		計		
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	
養護	児童虐待	605	26.5	238	23.2	301	26.9	205	16.9	105	21.6	1454	23.7
	その他	219	9.6	68	6.6	92	8.2	105	8.6	84	17.3	568	9.3
保健相談		0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
障害	肢体不自由	9	0.4	3	0.3	1	0.1	1	0.1	0	0.0	14	0.2
	視聴覚障害	0	0.0	1	0.1	1	0.1	0	0.0	0	0.0	2	0.0
	言語発達障害等	1	0.0	8	0.8	1	0.1	0	0.0	3	0.6	13	0.2
	重症心身障害	12	0.5	5	0.5	4	0.4	3	0.2	2	0.4	26	0.4
	知的障害	1192	52.3	532	51.9	517	46.2	654	53.8	204	42.0	3099	50.6
	発達障害	9	0.4	9	0.9	5	0.4	35	2.9	2	0.4	60	1.0
非行	ぐ犯	37	1.6	15	1.5	24	2.1	13	1.1	3	0.6	92	1.5
	触法	25	1.1	4	0.4	8	0.7	16	1.3	0	0.0	53	0.9
育成	性格行動	64	2.8	52	5.1	60	5.4	78	6.4	60	12.3	314	5.1
	不登校	21	0.9	28	2.7	25	2.2	19	1.6	11	2.3	104	1.7
	適性	59	2.6	39	3.8	58	5.2	13	1.1	6	1.2	175	2.9
	しつけ	4	0.2	8	0.8	3	0.3	10	0.8	0	0.0	25	0.4
その他		23	1.0	15	1.5	20	1.8	64	5.3	6	1.2	128	2.1
計		2,280	100.0	1,025	100.0	1,120	100.0	1,216	100.0	486	100.0	6,127	100.0
前年度計		2,183		1,049		1,077		1,264		502		6,075	
前年度比(%)		104.4		97.7		104.0		96.2		96.8		100.9	

図2 経路別受付件数

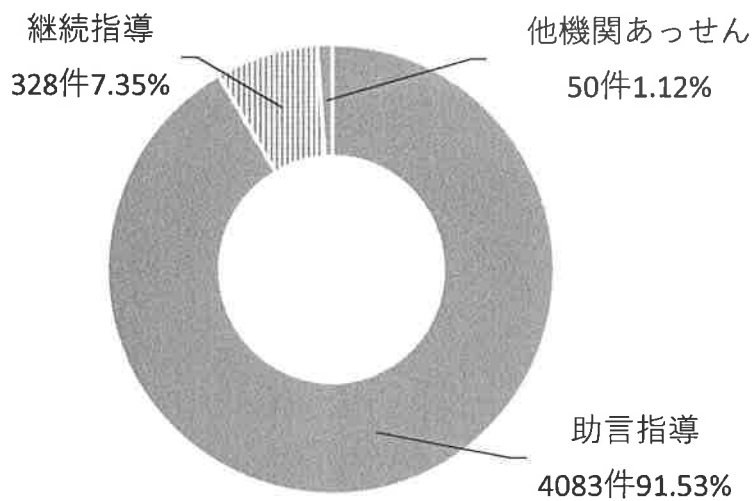


※年齢不詳の児童がいるため表1と図2の総数は一致しない。

図3 処理別件数



【面接指導4,461件の内訳】



【その他1353件の内訳】

児童委員指導	0
児童家庭支援センター委託	8
市町村送致	15
福祉事務所送致	58
訓戒・誓約	34
指定医療機関委託	0
家庭裁判所送致	2
障害児施設への利用契約	39
その他	1,197

図4 年度別・相談種別受付件数の推移

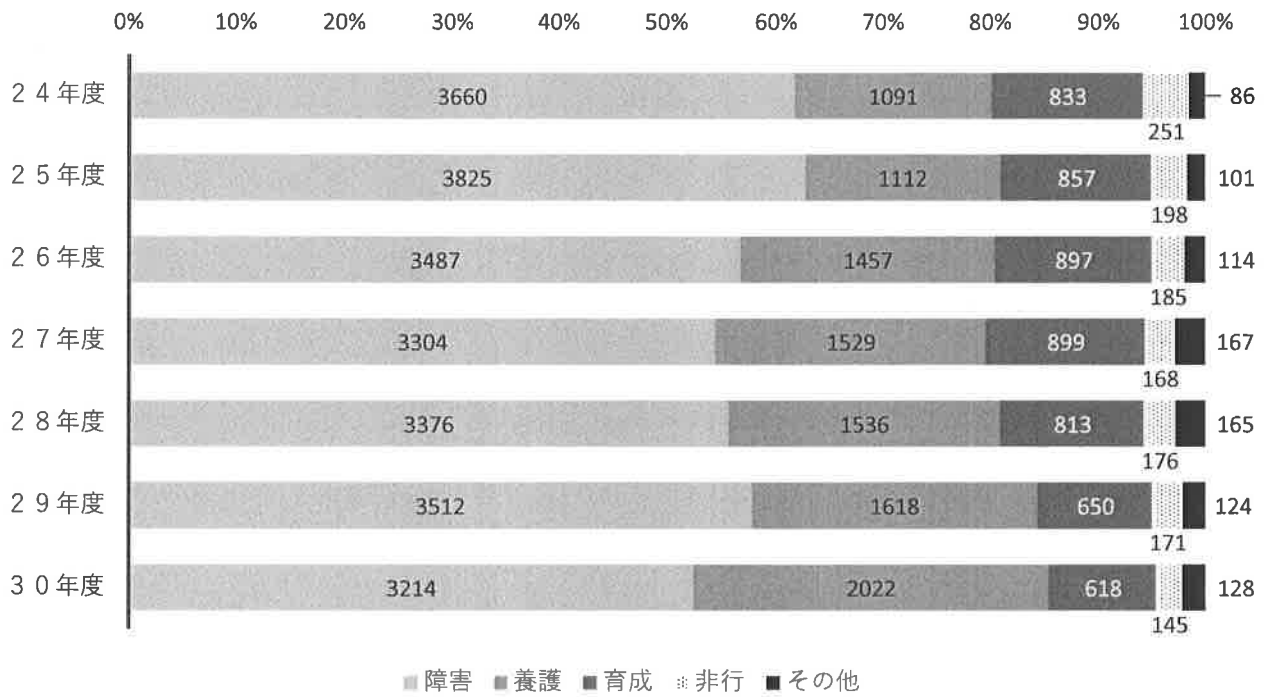
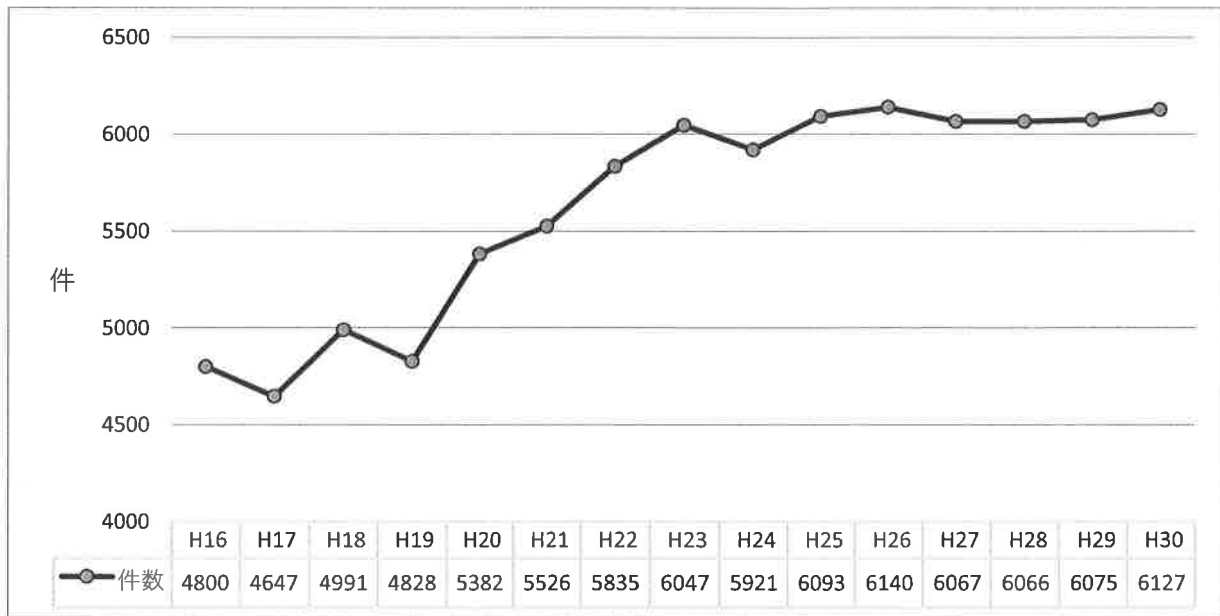


図5 受付件数の推移



養護相談の理由別対応状況（虐待）

平成30年度の養護相談の理由別処理件数は、巻末の業務統計に記載。
その養護相談（理由別）のうち、虐待相談の経路・虐待者・被虐待者の年齢・相談種別処理については次のとおりである。

表3 虐待相談の経路

種別 センター別	対応件数												
	都道府県	市町村	児童福祉施設等	警察等	保健所・医療機関	学校等	家族		親戚	近隣・知人	児童本人	その他	計
							虐待者本人	虐待者以外					
中央	46	67	8	209	18	81	16	38	9	85	6	22	605
西濃	7	11	0	83	6	34	1	10	1	42	4	19	218
中濃	14	44	7	72	10	44	3	25	9	42	1	3	274
東濃	5	16	0	83	4	23	6	6	9	44	0	6	202
飛驒	8	15	4	17	3	26	11	11	0	8	1	2	106
計	80	153	19	464	41	208	37	90	28	221	12	52	1,405

表4 虐待相談の主な虐待者

種別 センター別	対応件数					計
	実父	実父以外の父親	実母	実母以外の母親	その他	
中央	206	39	315	1	44	605
西濃	96	16	94	5	7	218
中濃	106	15	122	4	27	274
東濃	73	8	105	2	14	202
飛驒	41	3	59	0	3	106
計	522	81	695	12	95	1,405

図6 被虐待者の年齢・相談種別

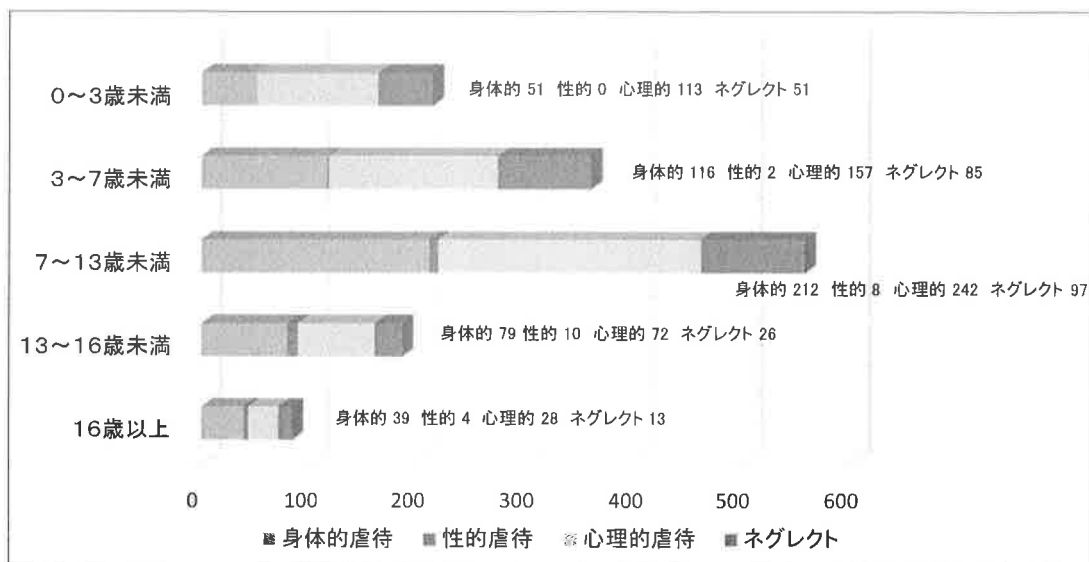


表5 虐待相談の対応

施設入所						里親委託	面接指導 (助言指導、継続指導等)	児童福祉司指導	その他	合計
	児童養護施設	乳児院	児童自立支援施設	児童心理治療施設	その他					
64	54	3	1	2	4	11	1290	16	24	1,405

表6 虐待相談の対応件数の推移

		年度					
		25	26	27	28	29	30
全	国	73,802	88,931	103,260	122,578	133,778	159,850
岐	阜 県	779	996	1,018	1,004	1,095	1,405
内	中 央	325	364	447	396	397	605
	西 濃	158	197	152	188	189	218
	中 濃	119	193	165	187	231	274
	東 濃	111	159	167	149	193	202
	飛 騨	66	83	87	84	85	106

図7 虐待相談の対応件数の推移(岐阜県)

